



# TLSC

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント  
プログラムガイド  
Faculty Development Program Guide

2017年度 4月～9月



◎お申し込み・お問い合わせ

大阪大学 全学教育推進機構  
教育学習支援部  
<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>  
〒560-0043 豊中市待兼山町1-16  
豊中キャンパス 全学教育総合棟Ⅱ4階417  
TEL.06-6850-5606  
tlsc@celas.osaka-u.ac.jp





教育学習支援部が  
実施している各種プログラムを  
内容別に図示しているマップです。  
ご関心のあるプログラムにぜひご参加ください。

◎=最適! ○=おすすめ! △=参考になります  
例:新任向け◎=新任教員に最適なプログラムです!

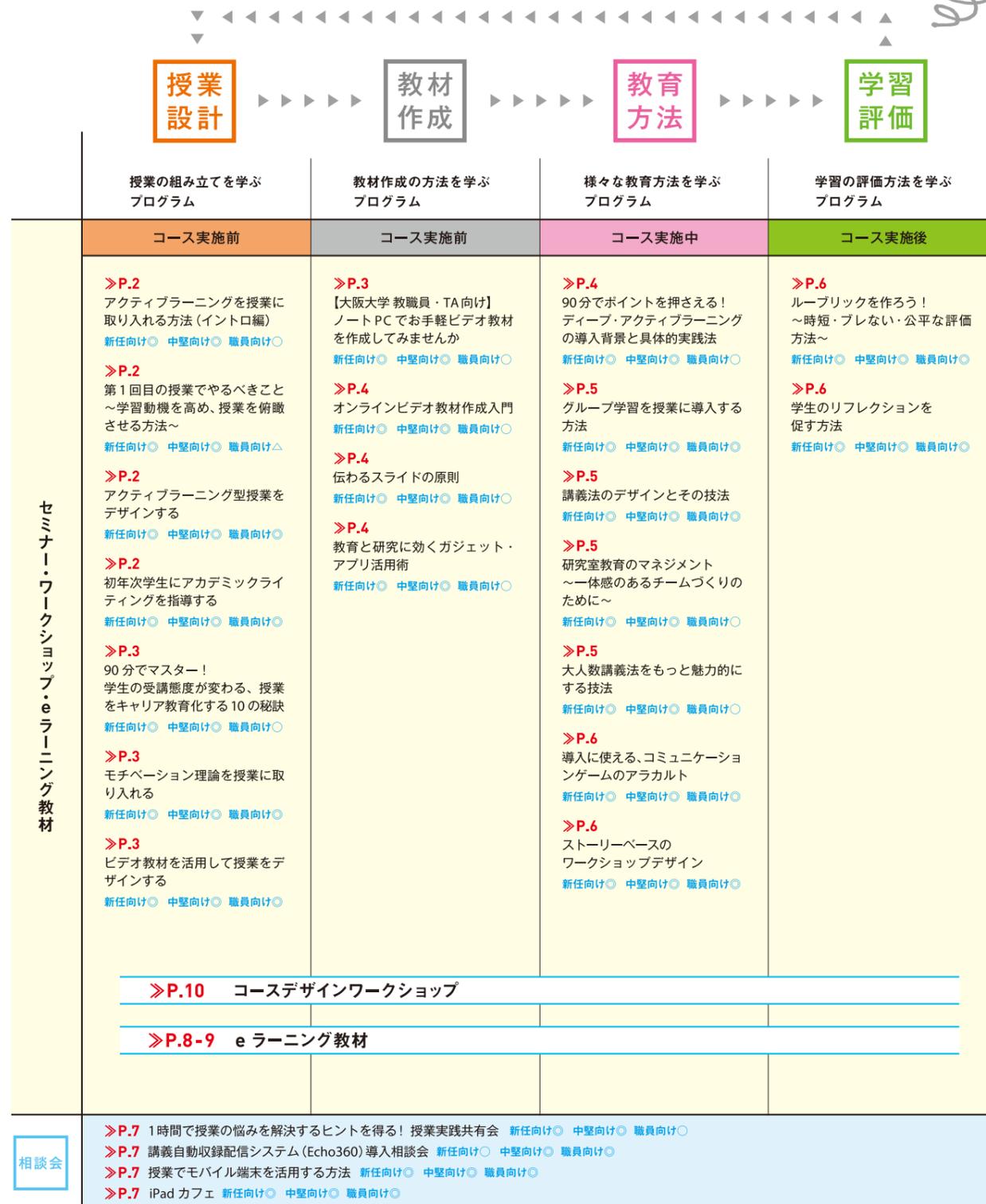
### 大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部の活動

教育学習支援部では、大学教員に対する教育支援を行っています。具体的には、授業の計画、実施、リフレクションというコースデザインサイクルのステップごとに、さまざまなプログラムを用意しています。ご自身の課題に応じて、最適なプログラムを選ぶことができます。

また、各種プログラムは対面型のセミナーやワークショップだけではなく、いつでもどこでも学べるeラーニングでも提供されています。さらに個別のコンサルティングサービスも用意しています。ご自身のスケジュールにあわせて、ご都合のよい学習方法を選択ください。

毎月	4月	5月	6月	7月	8月・9月
第2(木) 15:00~16:30(豊) 授業でモバイル 端末を活用する 方法 >>P.7	4/4(火) 16:00~17:00(豊) アクティブラーニングを 授業に取り入れる方法 (イントロ編) >>P.2	5/11(木) 16:30~18:00(豊) 90分でマスター! 学生の受講態度が変わる、 授業をキャリア教育化する 10の秘訣 >>P.3	6/7(水) 15:00~16:00(豊) ビデオ教材を活用して 授業をデザインする >>P.3	7/5(木) 15:00~17:00(豊) 導入に使える、コミュニケー ションゲームのアラカルト >>P.6	8/3(木) 15:00~17:00(豊) 学生のリフレクションを 促す方法 >>P.6
第4(木) 15:00~16:30(豊) iPad カフェ >>P.7	4/4(火) 16:00~17:00(豊) オンラインビデオ 教材作成入門 >>P.4	5/12(金) 13:00~14:30(吹) アクティブラーニング型 授業をデザインする >>P.2	6/7(水) 16:15~17:15(豊) ノートPCで お手軽ビデオ教材を作成し てみませんか >>P.3	7/14(金) 13:00~14:30(箕) 初年次学生にアカデミック ライティングを指導する >>P.2	8/9(水) 16:30~18:30(豊) 伝わるスライドの原則 >>P.4
	4/4(火) 16:00~17:00(豊) 大人数講義法をもっと 魅力的にする技法 >>P.5	5/12(金) 14:40~16:10(吹) 初年次学生にアカデミック ライティングを指導する >>P.2	6/7(水) 17:15~18:00(豊) 講義自動収録配信システム (Echo360) 導入相談会 >>P.7	7/14(金) 14:40~16:10(箕) アクティブラーニング型 授業をデザインする >>P.2	8/21(月)~8/22(火) 10:00~18:00(豊) コースデザインワークショップ (2日コース) >>P.10
	4/6(木) 16:30~18:00(豊) 90分でポイントを押さえる! ディープ・アクティブラーニングの 導入背景と具体的実践法 >>P.4	5/15(月) 13:00~15:00(吹) モチベーション理論を 授業に取り入れる >>P.3	6/8(木) 10:30~12:00(吹) 90分でマスター! 学生の受講態度が変わる、 授業をキャリア教育化する 10の秘訣 >>P.3	8/23(水) 15:00~17:00(豊) ストーリーベースのワーク ショップデザイン >>P.6	8/24(木) 13:00~14:30(豊) 教育と研究に効く ガジェット・アプリ活用術 >>P.4
	4/6(木) 18:15~19:15(豊) 1時間で授業の悩みを解決 するヒントを得る! 授業実践共有会 >>P.7	5/15(月) 15:15~17:15(吹) 研究室教育のマネジメント ~一体感のあるチームづく りのために~ >>P.5	6/8(木) 13:00~14:30(吹) 90分でポイントを押さえる! ディープ・アクティブラーニングの 導入背景と具体的実践法 >>P.4	9/8(金) 13:00~14:30(豊) アクティブラーニング型 授業をデザインする >>P.2	
	4/7(金) 13:00~15:00(豊) 第1回目の授業でやるべきこ と~学習動機を高め、授業を 俯瞰させる方法~ >>P.2	5/24(水) 13:00~14:00(吹) ビデオ教材を活用して 授業をデザインする >>P.3	6/8(木) 15:00~16:00(吹) 1時間で授業の悩みを 解決するヒントを得る! 授業実践共有会 >>P.7	9/8(金) 14:40~16:10(豊) 初年次学生にアカデミック ライティングを指導する >>P.2	
	4/7(金) 15:15~17:15(豊) 講義法のデザインとその技法 >>P.5	5/24(水) 14:15~15:15(吹) ノートPCで お手軽ビデオ教材を作成 してみませんか >>P.3	6/9(金) 13:00~14:30(豊) 初年次学生にアカデミック ライティングを指導する >>P.2		
	4/14(金) 13:00~14:30(豊) アクティブラーニング型 授業をデザインする >>P.2	5/24(水) 15:15~16:00(吹) 講義自動収録配信システム (Echo360) 導入相談会 >>P.7	6/9(金) 14:40~16:10(豊) アクティブラーニング型 授業をデザインする >>P.2		
	4/14(金) 14:40~16:10(豊) 初年次学生にアカデミック ライティングを指導する >>P.2	5/31(水) 15:00~17:00(豊) 研究室教育のマネジメント ~一体感のあるチームづく りのために~ >>P.5	6/14(火) 15:00~17:00(豊) モチベーション理論を 授業に取り入れる >>P.3		
	4/20(木) 15:00~17:00(豊) グループ学習を授業に 導入する方法 >>P.5				
	4/26(水) 15:00~17:00(豊) ルーブリックを作ろう! ~時短・ブレない・公平な 評価方法~ >>P.6				

### コースデザインと実施サイクル



### ◎コースデザインと実施サイクル

コース(授業科目)を目的・目標に基づいてデザインし、実際に教授し、さらに改善のためのリフレクションを行う一連のサイクルのことです。



- ・受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡下さい。
- ・本セミナーへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。
- ・本セミナーに参加した場合、3年に1度受講することになっている「大阪大学FDフォーラム」に参加したこととみなされます。
- ・ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。



## アクティブラーニングを授業に取り入れる方法(イントロ編)

講師：家島明彦(全学教育推進機構 教育学習支援部)

授業設計 60分 新任向け 中堅向け 職員向け

豊中 4月4日(火) 16:00~17:00 全学教育推進機構 HALC 1 (A棟 212)

〈概要〉なぜ近年アクティブラーニングという言葉が盛んに使われるようになったのでしょうか? どのようにして実践すればよいのでしょうか? このセミナーでは、アクティブラーニングの導入背景と実践方法を学びます。



## 第1回目の授業でやるべきこと～学習動機を高め、授業を俯瞰させる方法～

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 教育学習支援部)

授業設計 120分 新任向け 中堅向け 職員向け

豊中 4月7日(金) 13:00~15:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉第1回目の授業を、オリエンテーションをして早めに終了したり、概要はすでにシラバスに掲載していることを理由にすぐに授業を開始してしまっていないか? 第1回目の授業は、学生の学習動機を高めるために、重要な機会です。第一に人間関係の緊張関係を低減すること(具体的には、教員と学生との距離を縮め、学生同士の人間関係の緊張を短時間で下げる)、第二に学習動機の緊張関係を高めること(具体的には、学期内の授業が終わるまで継続して知的探究心を維持するコース・クエスチョンを問いかけること)で、学生の学習のスタートをより刺激的なものとする事ができます。 ※参加者はご自身のシラバス(どれか1つ)を持参下さい。



## [NEW] アクティブラーニング型授業をデザインする

講師：山口和也(全学教育推進機構 教育学習支援部)

授業設計 90分 新任向け 中堅向け 職員向け

豊中 4月14日(金) 13:00~14:30 全学教育推進機構 スチューデントcommons セミナー室D  
 6月9日(金) 14:40~16:10 全学教育推進機構 スチューデントcommons セミナー室D  
 9月8日(金) 13:00~14:30 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

吹田 5月12日(金) 13:00~14:30 銀杏会館 会議室B  
 箕面 7月14日(金) 14:40~16:10 研究講義棟B棟1階 プレゼンテーションルーム

〈概要〉教養教育科目のみならず専門基礎教育科目や専門教育科目です。本セミナーでは、学生の主体的な学習活動を促す様々な方法を取り入れる方法を説明します。アクティブラーニングは学習意欲や学習定着率の向上に有効な方法です。本セミナーでは、学生の主体的な学習活動を促す様々な方法を組み合わせアクティブラーニング型授業をデザインするワークを行います。



## [NEW] 初年次学生にアカデミックライティングを指導する

講師：山口和也(全学教育推進機構 教育学習支援部)

授業設計 90分 新任向け 中堅向け 職員向け

豊中 4月14日(金) 14:40~16:10 全学教育推進機構 スチューデントcommons セミナー室D  
 6月9日(金) 13:00~14:30 全学教育推進機構 スチューデントcommons セミナー室D  
 9月8日(金) 14:40~16:10 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

吹田 5月12日(金) 14:40~16:10 銀杏会館 会議室B  
 箕面 7月14日(金) 13:00~14:30 研究講義棟B棟1階 プレゼンテーションルーム

〈概要〉レポートの書き方に不安を抱いている初年次学生に対して、どのようにライティングを指導するのかについて説明します。各専門分野の独自のライティングとは異なり、共通性の高い基本的スキルに焦点を絞っています。本セミナーでは、ライティングの授業の実践事例と指導ポイントの紹介をし、ライティングを含んだ授業のデザインを試みていただきます。



## 90分でマスター! 学生の受講態度が変わる、授業をキャリア教育化する10の秘訣

講師：家島明彦(全学教育推進機構 教育学習支援部)

授業設計 90分 新任向け 中堅向け 職員向け

豊中 5月11日(木) 16:30~18:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)  
吹田 6月8日(木) 10:30~12:00 コンベンションセンター研修室

〈概要〉一生懸命教えているのに学生のやる気が低い。そんなふうに感じたことはありませんか? 最近の学生は「この授業は将来の自分にとって役に立つ授業なのか?」ということを気にする傾向があります。大学での学びにコストパフォーマンスという感覚を持ち込むなんてケシカラン! と腹を立てていても仕方ない時代です。ところが、この問題、実は解決可能です。教える内容・量はそのままに、ほんの少し工夫するだけで、学生の受講態度が変わるとっておきの秘訣があります。このセミナーでは、その秘訣を90分でお伝えします。



## モチベーション理論を授業に取り入れる

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 教育学習支援部)

授業設計 120分 新任向け 中堅向け 職員向け

豊中 6月14日(水) 15:00~17:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)  
吹田 5月15日(月) 13:00~15:00 コンベンションセンター研修室 2

〈概要〉学生の学習意欲を上手にマネジメントすることは教育者の腕の見せ所です。学習意欲は、モチベーション研究の一つであり、教育学、心理学、経営学の分野でも古典的なトピックです。本セミナーでは、複数のモチベーション理論を理解した上で、自分の授業にどう活かすかを考えます。



## 【トレンド】ビデオ教材を活用して授業をデザインする

講師：山口和也(全学教育推進機構 教育学習支援部)

授業設計 60分 新任向け 中堅向け 職員向け

豊中 6月7日(水) 15:00~16:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)  
吹田 5月24日(水) 13:00~14:00 コンベンションセンター研修室

〈概要〉知識の伝達量と定着量を効率化するためには、ビデオ教材を活用することは非常に良い方法です。本セミナーでは、ビデオ教材を自作する方法と、その使い方を説明します。さらに、授業外時間でのビデオ学習指導を実施するためのコツを知ることで、具体的な授業デザインができるようになっていただきます。



## 【大阪大学 教職員・TA向け】ノートPCでお手軽ビデオ教材を作成してみませんか

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター) 浦田 悠(全学教育推進機構 教育学習支援部)

教材作成 60分 新任向け 中堅向け 職員向け

豊中 6月7日(水) 16:15~17:15 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)  
吹田 5月24日(水) 14:15~15:15 コンベンションセンター研修室

〈概要〉Echoパーソナルキャプチャを用いれば、お手持ちのパソコンでお手軽にビデオ教材を作成し、専用サイトやCLEを通して学生に配信することができます。授業スライドを見せながら音声で解説を加えるビデオ教材を、予習や復習、補講等にご利用いただけます。また、カメラ(PC付属も可)で教員の様子も同時に収録することも可能です。本セミナーでは、ご自身のノートパソコンで実際に映像教材をつくりながら、授業での活用方法をご検討いただけます。 ※当日はノートパソコン(WindowsもしくはMac)をお持ち下さい。USBカメラは幾つか準備しておりますが、数が足りない場合はご容赦ください。 ※授業での公開をご希望の方は、参加申込みフォームの備考欄に「授業名」をお書き下さい。 ※同日開催します「ビデオ教材を活用して授業をデザインする」とあわせてのご参加を推奨いたします。



- ・受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡下さい。
- ・本セミナーへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。
- ・本セミナーに参加した場合、3年に1度受講することになっている「大阪大学FDフォーラム」に参加したことみなされます。
- ・ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。



## オンラインビデオ教材作成入門

講師：浦田 悠（全学教育推進機構 教育学習支援部）

教材作成

60分

新任向け  
中堅向け  
職員向け

**豊中** 4月4日(火) 16:00~17:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉全学教育推進機構の20教室には、講義収録配信システム(Echo)が設置されており、収録希望があった場合に、毎回の授業を自動で収録し、CLE等で配信することが可能になっています。また、Echoにはパソコン用のソフト(パーソナルキャプチャ)も用

意されており、自身のパソコンで手軽にオンラインビデオ教材を作成することもできます。このセミナーでは、日々の授業に役立つビデオ教材に向けたEchoの概要や使い方を解説します。



## 【トレンド】伝わるスライドの原則

講師：浦田 悠（全学教育推進機構 教育学習支援部）

教材作成

120分

新任向け  
中堅向け  
職員向け

**豊中** 8月9日(水) 16:30~18:30 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉目を引くスライドにしようとして、イラストやアニメーションを多用したり、派手な背景アートを使ったりしていませんか?あるいは、PowerPointのテンプレートそのままの図表や単調な箇条書きだけのスライドを作っていませんか?このセミナーでは、日々の講義で使用するスライドをよりよいものにしたいという教員の方

へ、見やすくわかりやすいプレゼン資料を作成するためのデザインの法則や役に立つ機能を紹介します。

※参加者はPowerPointやKeynoteで作成されたスライド資料が入ったパソコン(Win・Mac)をご持参下さい(グループワークと振り返りの材料となります)。



## 教育と研究に効くガジェット・アプリ活用術

講師：浦田 悠（全学教育推進機構 教育学習支援部）

教材作成

90分

新任向け  
中堅向け  
職員向け

**豊中** 8月24日(木) 13:00~14:30 全学教育推進機構 HALC 1 (A棟 212)

〈概要〉「じっくり文献を読む暇がない」「積み重なった本や資料を整理して参照するのが大変」などの問題は、多くの教員が慢性的に抱えている問題でしょう。しかし、いくつかの機材やアプリケーションを駆使する術を身につければ、資料作成の作業を飛躍的に効率化・深化させることができます。また、そのスキルは研究や

教育を進める上で幅広く活用することができます。このセミナーでは、資料の電子化→管理→読み込み→資料作成までのステップを取り上げ、すぐに使えるヒントを提供します。

※Macで使えるアプリケーションを中心に取り上げますが、Macのアプリケーションと同様の機能を持つWindowsアプリケーションも紹介します。



90分でポイントを押さえる!

## ディープ・アクティブラーニングの導入背景と具体的実践法

講師：家島明彦（全学教育推進機構 教育学習支援部）

教育方法

90分

新任向け  
中堅向け  
職員向け

**豊中** 4月6日(木) 16:30~18:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

**吹田** 6月8日(木) 13:00~14:30 コンベンションセンター研修室

〈概要〉なぜ近年アクティブラーニングという言葉が盛んに使われるようになったのでしょうか?なぜ最近ディープ・アクティブラーニングという言葉が出てきたのでしょうか?どのようにして実践すればよいのでしょうか?このセミナーでは、ディープ・アクティブラー

ニングを正しく理解するための知識を学びます。また、実際に自分の授業で実践するため、具体的な教育技法や学習デザイン方法を学びます。



## グループ学習を授業に導入する方法

講師：大山牧子（全学教育推進機構 教育学習支援部）

教育方法

120分

新任向け  
中堅向け  
職員向け

**豊中** 4月20日(木) 15:00~17:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉アクティブラーニング型の授業が注目されています。アクティブラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でど

のようにとりいれて良いのか、お困りではないですか?本セミナーでは、大学の授業の中で実施され得る様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明すると共に、授業の中で目的に応じてどのように導入するかを考えます。



## 講義法のデザインとその技法

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構 教育学習支援部）

教育方法

120分

新任向け  
中堅向け  
職員向け

**豊中** 4月7日(金) 15:15~17:15 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉アクティブラーニングの必要性が叫ばれる時代ですが、中世ヨーロッパに大学が誕生して以来、講義法はなくなっていないし、これからもなくなることはないでしょう。人前に立って知識を伝

達する技法である講義法において大切なことは、学生が知識を理解し記憶するというメカニズムを理解することです。本プログラムではその理解をもとに、効果的な技法を習得することを目指します。



## 【トレンド】研究室教育のマネジメント～一体感のあるチームづくりのために～

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構 教育学習支援部）

教育方法

120分

新任向け  
中堅向け  
職員向け

**豊中** 5月31日(水) 15:00~17:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

**吹田** 5月15日(月) 15:15~17:15 コンベンションセンター研修室 2

〈概要〉研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤としたこの教育方法をうまく実施するには、階段状に配置されたメンバー構成、研究室の理念(ラボポリシー)の共有、年間に渡

る教育イベントの設計など、いくつかのポイントがあります。研修では、優れた研究室教育の事例をもとに、自身の所属する研究室への応用を考えます。



## 大人数講義法をもっと魅力的にする技法

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構 教育学習支援部）

教育方法

60分

新任向け  
中堅向け  
職員向け

**豊中** 4月4日(火) 16:00~17:00 全学教育推進機構 HALC 3 (C棟 207)

〈概要〉大人数講義法には、特有の課題があります。学生の反応を得にくい、一方的になりがち、グループワークを入れにくいといったものです。しかし、これら課題は様々な方法やツールを利用して

克服することが可能です。大人数であっても効果的な学びをもたらすための技法を学びます。



- ・受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡下さい。
- ・本セミナーへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。
- ・本セミナーに参加した場合、3年に1度受講することになっている「大阪大学FDフォーラム」に参加したことみなされます。
- ・ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

### 導入に使える、コミュニケーションゲームのアラカルト

講師：蓮行（劇団衛星・京都外国語大学）

教育方法

120分

[新任向け](#)  
[中堅向け](#)  
[職員向け](#)

---

豊中

7月5日(水) 15:00～17:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉ワークショップ型・合意形成型の講義の導入で用いる、コミュニケーションゲームを紹介します。性別や属性、専門性の違う受講者同士が、いかに短時間でそれらの「差異」を超えて合意形成するのかというプロセスを、ゲームを通じて体験し「研究・講義・

社学連携・社会実装」といった、大学人に求められる能力の向上につなげていきます。同時に、大学人という枠を超えて「他者との関わりの中で学び続ける力」を得る為のヒントを、120分で生成し、共有していきます。

### ストーリーベースのワークショップデザイン

講師：蓮行（劇団衛星・京都外国語大学）

教育方法

120分

[新任向け](#)  
[中堅向け](#)  
[職員向け](#)

---

豊中

8月23日(水) 15:00～17:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉語学を身につけて、誰と誰をどんな場面で繋ぐのか？ 新しく開発された工学的な技術が、どんな人のどんな生活のいかなる利便性に貢献するのか？ 患者の個々の病態や事情に寄り添いながら、全体の業務量を適切にコントロールできる看護技術とはいかなるものなのか？これらの課題は、いずれも「知識は知識として独立して

使えるものではなく『誰が、どんな場面で、何の為に』という『ストーリーベース』で事象を捉えなければ、役に立たない』ことを示しています。大学の講義や社学連携の事業で使わることが多くなってきたワークショップ手法を、ストーリーベースで活用するための講座です。

### 【トレンド】ルーブリックを作ろう！～時短・ブレない・公平な評価方法～

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構 教育学習支援部）

学習評価

120分

[新任向け](#)  
[中堅向け](#)  
[職員向け](#)

---

豊中

4月26日(水) 15:00～17:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？ 評価にかかる時間をもっと短縮できたらと思ったことはありませんか？ ルーブリックがそんな悩みを解決してくれます。ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本セミナーではルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、

研修時間内に自らの授業で活用できるルーブリックを作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけではなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。  
※参加者は事前に送付されるファイルを取り込んだパソコンを持参下さい。持参できない場合はパソコンを使わずに紙で作業もできます。

### 【トレンド】学生のリフレクションを促す方法

講師：大山牧子（全学教育推進機構 教育学習支援部）

学習評価

120分

[新任向け](#)  
[中堅向け](#)  
[職員向け](#)

---

豊中

8月3日(木) 15:00～17:00 全学教育推進機構 HALC 1 (A棟 212)

〈概要〉学生が主体的に学ぶためには、自らの学習をふりかえり、捉え直す「リフレクション」を促すことが有効です。リフレクションは、授業において学習したことを定着させるだけではなく、既存の知識と新たに習得した知識の接続を意識させることができます。

本セミナーでは、授業の中で、学生のリフレクションを促すための観点やツールを用いた方法を紹介し、授業の中でどのように取り入れるのかを検討します。さらに、教員が自分自身のリフレクションを通して、授業改善を行う方法を紹介致します。

### 1時間で授業の悩みを解決するヒントを得る！授業実践共有会

講師：家島明彦（全学教育推進機構 教育学習支援部）

相談会

60分

[新任向け](#)  
[中堅向け](#)  
[職員向け](#)

---

豊中

4月6日(木) 18:15～19:15 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

吹田

6月8日(木) 15:00～16:00 コンベンションセンター研修室

〈概要〉このセミナーは講師が参加者に対して一方的に講義をする場ではなく、参加者同士が自身の授業実践についての悩みや工夫を共有するための場です。もちろん教育方法に精通した教育学習支援部の教職員がアドバイスやサポートをいたします。また、適宜

アクティブラーニング等を導入した授業実践の事例紹介や教育技法・ツールの紹介も行います。教員同士の対話の中から解決策やヒントが見つかるかもしれません。気軽にご参加下さい。

### 【大阪大学 教職員・TA向け】講義自動収録配信システム(Echo360)導入相談会

講師：浦田 悠（全学教育推進機構 教育学習支援部）

相談会

45分

[新任向け](#)  
[中堅向け](#)  
[職員向け](#)

---

豊中

6月7日(水) 17:15～18:00 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

吹田

5月24日(水) 15:15～16:00 コンベンションセンター研修室

〈概要〉Echo360は、講義映像やスライドおよび音声を収録し、学生や教職員などに公開することができるシステムです。このシステムを活用することで、講義はもちろん、部局や研究室でのオンライン講習や研修のための映像も収録・配信することができます。

今回は、Echo360を実際に導入する際のコストや流れ、および具体的な利用法に関する相談会を開催します。部局や研究室でEcho360の導入を検討されている教職員の方のご参加をお待ちしております。

### 【トレンド】授業でモバイル端末を活用する方法

講師：岩居弘樹（全学教育推進機構 教育学習支援部）

相談会

90分

[新任向け](#)  
[中堅向け](#)  
[職員向け](#)

---

豊中

毎月第2木曜日 15:00～16:30 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉学生の携帯・タブレット端末を授業で活用してみませんか。モバイル端末を活用すると、学生同士・学生と教員のインタラクティブな授業が実現します。本セミナーでは、モバイル端末活用した授

業の実例を紹介しながら、ICTを導入した授業デザインについて実習を交えながら考えます。

### iPad カフェ

講師：岩居弘樹（全学教育推進機構 教育学習支援部）

相談会

90分

[新任向け](#)  
[中堅向け](#)  
[職員向け](#)

---

豊中

毎月第4木曜日 15:00～16:30 全学教育推進機構 HALC 2 (A棟 312)

〈概要〉iPadの活用方法、HALC(Handai Active learning Classroom：iPad教室)の使い方、アプリ紹介や情報交換など、自由に語り合う場です。どなたでも参加いただけます。HALC以外の教室でも

iPadを使ってみたい、学生のモバイル端末を活用したいという方も歓迎です。予約は不要です。メーリングリストでの情報交換もしておりますので、ご希望の方はご連絡下さい。

●理論 ●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

●理論 ●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

## 実践的FDプログラムオンデマンド講義 (全国私立大学FD連携フォーラム)

大学教員の4つのアカデミック・プラクティス(教育・研究・社会貢献・管理運営)に対して、系統的な理論や実践に関するオンデマンド講義が準備されています。

◎講義例

### ●現代の高等教育 講師：金子 元久 概論

「高等教育」と「大学」はどのように異なるのか。高等教育とは何か解説されています。「自らの大学の置かれた立場と今後の対応を考えること」ができるようになることを目指します。

### ●大学評価論 講師：安岡 高志 課題別

大学評価は何のために行われるのか。大学評価が導入された背景は何か。国内外の背景や目的が解説されています。PDCAサイクルを機能させるための条件についても考察されています。

### ●青年期の心理 講師：白井 利明 課題別

青年期の発達課題とは何か。青年期における葛藤の理解の仕方についての解説を受け、青年期の教育について発達の視点から考えていきます。

### ●発達障害のある学生の学び —アスペルガー症候群を中心に— 講師：荒木 穂積 課題別

発達障害の一つであるアスペルガー症候群の歴史と現状について学びます。アスペルガー症候群のある学生への学びの支援について理解を深めます。

### ●研究者にできる多様な アウトリーチ活動の紹介 講師：半田 利弘 課題別

研究者が留意すべき表現上・演出上の注意点が解説され、アウトリーチ活動を効果的に実行できるようになるヒントをどのようにして見つけるか紹介されています。

### ●大学教員のための 大学管理運営基礎 講師：肥塚 浩 課題別

大学管理運営において教職員が果たすべき役割とは何か。大学の使命と教職員の役割を考える際に、大学のミッションから教職員個人のレベルまで連動していることが解説されています。

### ●近年の大学改革の進展を踏まえた大学管理 運営の新たな発想 講師：山本 眞一 課題別

急速に進展している大学改革が、大学管理運営にとってどのような意味を持つのか。「大学教職員として、新たな状況に応じ管理運営上の適切な判断ができる能力」を養うことを目標としています。

### ●アクティブ・ラーニングの理論と 実践における課題 講師：三浦 真琴 概論

アクティブ・ラーニングを実現するために提示された理論のうち、実践に資すると思われるものが紹介されています。「アクティブ・ラーニングを目指す授業をデザインできる」ことを目標としています。

### ●高等教育における授業技術 講師：木野 茂 概論

授業におけるコミュニケーションの差で授業効果が異なります。なぜ双方向型授業がよいのか。双方向型授業の具体的な例をあげながら説明されています。

### ●学習教材作成における著作権等の理解 講師：坂井 知志 課題別

著作権法の原則を知識として学ぶとともに、著作権法を遵守しながら学習教材をどのように作成することが望ましいのかについての方法論も学びます。

### ●学生授業評価の読み方と授業への活用 講師：安岡 高志 課題別

授業評価に関して先進国である米国の例を題材に、どのような因子がどのように影響するか学びます。また授業評価に関して、日本の学生の意見も紹介されています。

### ●大学の授業の設計 講師：沖 裕貴 概論

「カリキュラムや授業の設計において、学習成果を明確にし、適切に到達目標(行動目標)を設定することができる」ことを目指し、行動目標に即した成績評価について考えていきます。

## 金沢電子出版 eラーニング教材

### 講義に活かせるFD講座 [入門編]

先生のノウハウをさらに活かせるコツとは？日々の講義に活かせる映像教材です。



### 授業に活かすプレゼンテーション

授業や講義でのより効果的なプレゼンテーションのための心構えと技術について分かりやすく解説しています。



## 大阪大学GFDプロジェクト「Let's teach in English」

大阪大学教員が「自信を持って英語で講義できる」ようになることを目的としたe-Learning教材です。

\*大阪大学GFDプロジェクトとは、高等教育のグローバル化に対応したFD支援事業「教育のグローバル化、教員の英語力強化のためのFDです。」



## 大阪大学授業支援システム(CLE)「大阪大学FD研修 映像配信」

● / ● / ● / ● / ● 概論

「大阪大学FDフォーラム」(全学ファカルティ・デベロップメント研修(全学FD))の映像を配信しています。現在、2009年度~の全学FDのビデオを公開しています。



● 「授業デザイン入門」—シラバスの書き方— 課題別  
講師：佐藤 浩章

● 「大人数講義入門」 課題別  
講師：小林 直人

● 「効果的なグループワークの進め方」 課題別  
講師：佐藤 浩章・小林 直人・野本 ひさ

● 「成績評価法」 課題別  
講師：野本 ひさ

● 第1章 コミュニケーションとプレゼンテーション 概論

● 第2章 効果的なプレゼンテーションの構成 概論

● 第3章 プレゼンテーションの構成 概論

● 第4章 効果的なシート(パワーポイントを使って) 概論

● 第5章 効果的なシート(静止画や動画の扱い方) 概論

● 第6章 話し方と姿勢 概論

● 第7章 アクシデントに対処する 概論

● Internationalization of Education 概論  
高等教育の国際化について学ぶための教材

● Theory and Practice 課題別  
英語による講義方法を学ぶための教材  
(自然科学分野・人文社会科学分野)  
英語による討議方法を学ぶための教材  
(自然科学分野・人文社会科学分野)

● Discipline-specific Approaches 課題別  
個別分野に特化した教材



## ワークショップ

まとまった時間で  
コースデザインを包括的に  
学べます。

お申し込みはこちらから  
<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/teachingsupport/cdws>



## コンサルティングサービス

授業やシラバス、教授法、  
学習評価などに関する  
様々なご相談を承っております。

### コースデザインワークショップ

学習者中心の授業のデザイン方法と基本的な授業方法を学び、今後の授業の質の向上を目指します。目的とスケジュールに合わせて、好きなプログラムをお選びください。

#### 2日コース (通い型)

現在担当している科目、もしくはこれから担当する科目のシラバスをブラッシュアップします。すでに授業経験がある教員、ご自身のシラバスと授業方法をより良くしたい教員、短期間で集中して学習したい教員に推奨します。

- 日程  
2017年8月21日(月)~22日(火) 各日10:00~18:00
- 会場  
豊中キャンパス全学教育推進機構 HALC 1 (A棟212)
- 講師  
佐藤浩章、増澤利光、根岸千悠(全学教育推進機構教育学習支援部) 他

- プログラム
- 1日目(10:00~18:00)
  - ◎授業の基盤となる学習観
  - ◎シラバスの書き方
  - ◎よりよい成績評価の仕方
  - ◎コースデザイン
  - ◎クラスデザイン
- 2日目(10:00~18:00)
  - ◎ミニ授業の練習
  - ◎ミニ授業
  - ◎様々な授業方法
  - ◎ふりかえり



(参加者の声)

- 「シラバスの内容である目的・目標、講義内容、評価という流れの中には、一貫性があるはずだが、これまでは自分の感覚や慣例で作成してきたため、一貫性がなかったという事に気が付くことができた」(医学系研究科・助教)
- 「様々な授業スタイルに触れることができ、私も授業スタイルを工夫してみようという気持ちになれた」(工学研究科・助教)
- 「今回のワークショップを通じて、自分が普段行っている授業とはだいぶ違う授業手法があることを目の当たりにした」(他大学・教授)

#### 4日コース (通い型/英語)

学習者である学生の立場から教育をとらえ、講義の組み立て方や方法などについて、理論と実践を通して学びます。今後部局において教育の国際化やFDに積極的に関わることが期待される教員、英語で授業をしているもしくは授業をする予定のある教員、英語でディスカッションしたい教員に推奨します。

- 日程  
調整中
- 会場  
吹田キャンパス
- 講師  
ジュリー・ティーマーズ氏(ニュージーランド・オタゴ大学)(未定)

- プログラム
- I. Course design (10:00~13:00)
  - Day1: Course content
  - Day2: Learning outcomes
  - Day3: Instructional strategies
  - Day4: Assessment methods & Next steps
- II. Microteaching (14:00~17:00)
  - Team A (Day1, Day3)
  - Team B (Day2, Day4)



(参加者の声)

- 「全てのプログラムが大変ためになりました。特に、実習とピアフィードバック、マイクロティーチングでよい経験を得ることができました」(工学研究科・教授)
- 「参加者の理解度や実践力を確認、高めるための問いかけやexerciseも工夫して適宜取り入れてあり、一方的な講義形式よりずっと分かりやすく、学習意欲も高まりました」(文学研究科・助教)
- 「It is new experience for me. It is very good to attend this workshop for those are willing to take teaching as their career」(International College, Assistant Professor)

### コンサルティングサービス

教育や指導に関してお困りのことはありませんか？ 複数の内容を組み合わせてお申し込みいただくことも可能です。随時、受け付けておりますので、ウェブサイトよりお気軽にご連絡下さい。

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/consuform>



- 自己流で授業デザインをしているため、自信が持てない  
.....> ◎シラバスのブラッシュアップ  
新たに授業を担当する際、もしくは教育内容を変更する際、実際のシラバス作成作業を通して、授業のデザインをサポートします。
- 自分の授業に対して学生はどう思っているのだろうか？  
.....> ◎MSF (Midterm Student Feedback)  
スタッフが授業に同行し、学生から授業に対するコメントを聞き取ります。授業終了後に、コメントをもとに改善策を練るサポートをします。
- 他の先生がどのような授業をしているのか見て学びたい  
.....> ◎ピアレビュー  
教員がお互いの授業を見学し、授業内容や方法について検討しあうことを通じて、授業を見直していくための場づくりのサポートをします。
- 自分の授業を客観的に見直したい  
.....> ◎授業撮影  
授業の風景をビデオで撮影し、ご希望の記録媒体でお渡しいたします。また、学生の受講状態や教室の雰囲気等について改善策と一緒に検討します。
- タブレット端末やスマートフォンを活用した新しい教授法を取り入れたい  
.....> ◎ICT活用支援  
ICT機器(パソコン、プロジェクタ、タブレット端末、携帯端末等)の操作や設置の方法、授業での活用の仕方などのご提案や、授業への導入のサポートをします。
- 英語での講義を担当することになったのだが、不安を感じている  
.....> ◎TIE (Teaching in English) 支援  
英語で教えるための方法やテクニック等についての情報提供やサポートをします。
- 研究室をうまくマネジメントできない。良いルール作りや指導方法を知りたい  
.....> ◎研究室教育支援  
研究室でのルールづくり、一年間の行事の設定など、プロジェクトマネジメントの手法を取り入れた研究室運営に関する情報提供や研究室教育に関するサポートをします。
- FDを企画・実施したいのだが、何から始めればよいのか分からない  
.....> ◎FD担当者支援  
各学部や学科において企画された内容に応じてFDの講師を派遣しますので、お気軽にお声がけください。
- もっとインタラクティブな授業に挑戦したい  
.....> ◎アクティブラーニング型授業の取り入れ方  
学生の能動的な学びを促すための方法やペアワーク・グループワークを取り入れた授業に関する情報提供をします。またアクティブラーニング型授業に関するご相談に応じます。

#### この他、下記のようなご相談にもお応えしています

- アンケート作成について知りたい
- 学生向けワークショップを企画したい
- 教材の作成について知りたい
- Echoシステムを利用してみたい



教育学習支援部の今をお届けします。  
セミナーやワークショップ等で  
お寄せいただいた参加者の声も紹介します。

わたしたちが、  
研修講師・コンサルタントを務めます。

所属は2017年3月現在です。



増澤 利光  
全学教育推進機構  
教育学習支援部長  
情報科学研究科・教授



岩居 弘樹  
全学教育推進機構・教授



山口 和也  
全学教育推進機構・教授



佐藤 浩章  
全学教育推進機構・准教授



家島 明彦  
全学教育推進機構・講師



浦田 悠  
全学教育推進機構・特任講師



大山 牧子  
全学教育推進機構・助教



根岸 千悠  
全学教育推進機構・特任研究員



権藤 千恵  
全学教育推進機構・特任研究員  
(MOOCプロジェクト)



シング クムド ビラハム  
全学教育推進機構・特任研究員  
(MOOCプロジェクト)



竹村 治雄  
サイバーメディアセンター・教授



兼松 泰男  
産学連携本部・教授



西森 年寿  
人間科学研究科・准教授



浦西 友樹  
サイバーメディアセンター・准教授

川口 みゆき  
全学教育推進機構・特任研究員



◎セミナーレポート

教育学習支援部では、2016年後期も  
累計30を超えるFDセミナーを開催いたしました。  
その中から前回初めて開催し、好評をいただいた  
4つのセミナーをご紹介します。

(※講師の所属はセミナーの開催当時のものです)

モチベーション理論を授業に取り入れる

12月6日、吹田キャンパス(コンベンションセンター)にて、佐藤浩章准教授(全学教育推進機構・教育学習支援部)により、学生のモチベーションが上がる時や下がる時がどんな時か、「やる気スイッチ」にはどんなものがあるかなど、グループワークを交えてのセミナーが開催されました。本セミナーは今期も開催します!(P.3参照)

〈参加者の声〉

- これまでモヤモヤと考えていたモチベーションのあり方について、ずいぶんとすっきりした理解ができるようになりました。
- マインドセットの話を学生に伝えること、自体に効果がありそうだと知ることができた。



研究室教育のマネジメント——体感のあるチームづくりのために——

12月7日、豊中キャンパス(スチューデント・commons)にて、佐藤浩章准教授(全学教育推進機構・教育学習支援部)により、徒弟制の見直しや、研究室の理念(ラボポリシー)について学ぶセミナーが開催されました。本セミナーは今期も開催します!(P.5参照)

〈参加者の声〉

- ラボポリシーを作成し、他の教員と共有することで有益な気づきがあった。
- 研究室の運営にルール作りとは別に、徒弟制が重要な役割をするということも知れて良かった。



日本人・留学生に英語で教える方法

10月26日、豊中キャンパス(スチューデント・commons)にて、Gerry Yokota 教授(言語文化研究科)により、日本人と留学生が混在する教室での英語の講義方法について、参加者と不安や悩みを共有しながら、一緒に対策を考えるセミナーが開催されました。

〈参加者の声〉

- 留学生と日本人学生が混在しているクラスで何を気にすべきか、いろいろ考えさせられました。
- Midterm renewの必要性について再認識した。



データで見る阪大生の学び

12月12日、吹田キャンパス(最先端医療イノベーションセンター)にて、山下仁司教授、安部有紀子特任准教授、石倉佑季子特任講師、井ノ上憲司特任助教(高等教育・入試研究開発センター)、和嶋雄一郎助教(経営企画オフィス)により、学生調査のデータを基に「阪大生の学びと成長」を見るセミナーが開催されました。

〈参加者の声〉

- SERU、Tableau の存在を知ったこと。
- 阪大生の特徴を客観的に分析できて、すごく良かったと思います。



◎「第1回 大阪大学豊中地区研究交流会」への参加報告

12月10日(火)に大阪大学会館で開催された「第1回 大阪大学豊中地区研究交流会」に、大山牧子助教、根岸千悠特任研究員、権藤千恵特任研究員が参加し、ポスター発表をしました。普段同じキャンパスにいらながらも、接する機会の少ない、ほかの研究科や部局の皆さんと、教育学習支援部の研究内容や活動を紹介しながら、

交流することができ、大変貴重な経験になりました。今後も、全学の教育支援や学習支援活動を通して、各研究科の教職員の方々と交流できればと思っています。



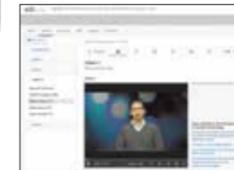
ポスター発表

- 大山牧子・根岸千悠・山口和也「専門基礎科目における学生の理解を深める反転授業—化学の授業を事例に—」
- 根岸千悠「全学教育推進機構教育学習支援部における教育支援の取り組み」
- 権藤千恵「グローバル edX を利用した大阪大学 MOOC 制作配信の取り組み」



◎MOOCプロジェクト(OsakaUx)のご紹介

MOOC プロジェクト(OsakaUx)では、edX プラットフォームを使った学内外向けの講義収録・配信サポートを行っています。これまでに配信した海外向けオンライン講義(免疫学・認知脳科学・医療統計学)には、世界各国からのべ40,000名の受講登録がありました。プロジェクトについて詳しくはホームページをご覧ください。



OsakaUx について詳しくはこちら(英語)

URL: <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/mooc/>

◎大学院生向けプログラムのご紹介

■大阪大学未来の大学教員養成プログラム

2015年度から大学院等高度副プログラムとして本格始動した「大阪大学未来の大学教員養成プログラム」。大学教員を志望している大学院生(修士課程・博士課程)を対象に、大学教員として教壇に立つための知識や技法を学ぶ科目を開講しています。現在、84名の大学院生がこの副プログラムに登録しています(2017年1月現在)。プログラムは以下の3つの必修科目のほか、いくつかの選択科目によって構成されています。

- 【必修】大学授業開発論Ⅰ 授業デザインと教育技法の学習
- 【必修】大学授業開発論Ⅱ 高度な教育技法のトレーニング
- 【必修】大学授業開発論Ⅲ 教育と研究の統合—SoTLの実践—

今学期は、プログラムの最も基本科目である「大学授業開発論Ⅰ」が豊中キャンパスで4月20日より開講されます。Webエントリーは、4月16日までです。是非、お近くの大学院生にお知らせください!

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/learningsupport/ffp>

〈修生生の声〉

- シラバスを充実させることの価値が分かった。良いシラバスを提示することは、学生が学習前に知識の入れ物を脳の中に用意するという役割があることを学んだ。(理学研究科・博士後期課程)
- この講義を受講できて本当に良かったです。知識、技術的なことはもちろんですが、人的ネットワークが広がったことも大きな収穫です。(人間科学研究科・博士前期課程)

